

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 元年 9月30日

学籍番号	18PDA01	学系	トレーニング科学
氏名	相川 聖		
学会等名 (正式名称)	15 th European congress of sport & exercise psychology		
開催日程	2019年 7月 15日 ~ 2019年 7月 20日		
開催場所 (国・都市名)	Münster, Germany		
発表演題名	Characteristics of imagery use of athlete from sports characteristics		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する.	<p><学会の全体の印象> 本学会が開催されたミュンスター大学は大変広く、壮大であった。学会に参加している先生は、主にヨーロッパ圏の方が多くのように感じた。また、発表の演題やシンポジウムの内容も幅広く、スポーツ心理学の領域における様々な内容の研究発表が行われていた。また、それぞれの発表に対するディスカッションも活発である印象を受けた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 私は本学会大会で開催された「スポーツ心理学における研究と実践のギャップ」のシンポジウムに参加した。このシンポジウムでは、研究と実践におけるギャップの説明や、実際にどのように研究を進めて実践に生かしていくかについて登壇者は自身の研究の事例も交えながら説明された。また、研究者だけではなく、コーチやスポーツ心理学の知識を現場に提供する立場から問題提起された。さらに、イメージに関する内容も多く紹介されており、私にとって非常に興味深いシンポジウムであった。私が行っている研究や実践においても、より実践に活かせる研究や研究の知見に基づいた実践に取り組んでいきたい。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 本研究のポスター発表では、数名の先生に質問していただいた。本研究の全体的な説明を求められることが多く、全てを英語で説明することの難しさを感じた。また、いただいた質問からは、研究への新たなアイデアを得ることができ、今後の研究活動を進めるうえで有意義な時間となった。</p>		

- ※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。
提出期限は学会終了後2週間以内とする。
本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。